

# 三小だより

# 1月号

## さる年を、新しい決意で素晴らしい年に

校長 藤本 賀津雄

新年明けましておめでとうございます。今年一年が、皆様にとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、本校の教育活動に対しまして、今年も温かいご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今年の干支は申(猿)ですね。日光東照宮では三猿といって、見ざる・言わざる・聞かざる、の三種類の子どもの猿が飾られています。これは、子どもの頃には悪いことを見たり言ったり聞いたりしないで、素直なままに育ちなさい、という意味があるそうです。しかし、新聞やテレビは、連日のように大人たちの悪いお手本を報じており、決して素直なままに育つ環境にはなっていません。むしろ、これは大人たちへの戒めと捉えるべきではないでしょうか。私たちはちょっとしたマナーや言葉遣いなど身の回りの小さなことであつたとしても、子どもたちに悪いことを見せない・言わせない・聞かせない、と意識する大人でありたいと思います。

逆に、子どもたちには「見ざる・言わざる・聞かざる」ではなく、いろいろなことに興味・関心を持ち、どんどん見て聞いて、自分の考えをしっかりと伝える人になってほしいと思っています。情報が溢れかえる時代だからこそ、何が正しくて何が間違っているか見極め、自分の正しいと思う考えを堂々と述べ実行できる、自立した人に成長してほしいと願っています。



さて、「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。これは、一年の計画は年の始めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては最初にきちんとした計画を立てるのが大切だという意味です。今年はこんな年にしようとか、今年はこんなことに挑戦しようなど、新年の決意を決めることが大切です。まだ決めていない人は今からでも決して遅くはありません。是非、ご家族全員が大人も子どもも含めて、それぞれの立場で新しい決意を立ててみてはいかがでしょうか。新しい決意で新しい挑戦を始める時、人間としての器が大きくなり、結果としてこの一年が素晴らしい年になると思います。

学校でも子どもたちに新しい決意で頑張ろうと指導しております。あまり大きな目標だと途中で挫折してしまいます。ちょっと頑張ればできそうだというぐらいの目標がちょうどいいと思います。子どもたちにとって、お家の方も自分なりの目標を決めて子どもと同じように頑張ろうとしている姿は、きっと大きな励みになるはずです。さる年が皆様にとって素晴らしい年でありますようお願いいたします。